

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和3年5月1日※1
(前回公表年月日: 令和2年5月7日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
専門学校 未来ビジネスカレッジ	昭和61年10月30日	田中 正吉	〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人未来学舎	昭和61年10月30日	理事長 青山 織人	〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
商業実務	商業実務専門課程	動物看護師学科	平成23年12月22日 文部省告示第167号	-																											
学科の目的	人と動物の絆は、現代の環境的、社会文化的、家族的、心理的要因等によって深まり続けている。動物が「家族」や「伴侶」として存在し、動物医療が年々高度になる中で、動物看護師学科では人間力を持って飼主を支援し、プロとして動物看護にあたる人材を育成する。平成29年度からは動物看護師専攻およびどうぶつビジネス専攻の2専攻を設置し、更なる高度な専門資格取得を目指す。平成26年度より動物看護師の高位平準化・国家資格化に向け、動物看護師統一認定機構が推奨するコアカリキュラムに一新し、動物看護師統一認定試験合格を目指す。																														
認定年月日	平成28年2月19日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	76	43	4	44	-	-																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
60人	40人	0人	4人	6人	10人																										
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価																											
長期休み	■学年始: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月29日～8月25日 ■冬季: 12月22日～1月6日 ■学年末: 2月28日～3月31日		卒業・進級条件	■進級条件: なし(単位制) ■卒業条件: 76単位以上取得																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携)		課外活動	■課外活動の種類 ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行 ■サークル活動: 有																											
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 動物病院、ペットショップ、畜産業等 ■就職指導内容 就職適性診断、職業レディネステスト、個別面談等をふまえたキャリアプランニング指導、就職試験(一般常識、面接)指導、模擬面接、就職ラリーの実施、企業情報提供、企業人・卒業生の講演など。 ■卒業生数 : 21 人 ■就職希望者数 : 20 人 ■就職者数 : 20 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 95 % ■その他 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>動物看護師統一認定試験</td><td>③</td><td>19人</td><td>19人</td></tr><tr><td>愛玩動物飼養管理士1級</td><td>③</td><td>21人</td><td>20人</td></tr><tr><td>愛玩動物飼養管理士2級</td><td>③</td><td>21人</td><td>21人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	動物看護師統一認定試験	③	19人	19人	愛玩動物飼養管理士1級	③	21人	20人	愛玩動物飼養管理士2級	③	21人	21人								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
動物看護師統一認定試験	③	19人	19人																												
愛玩動物飼養管理士1級	③	21人	20人																												
愛玩動物飼養管理士2級	③	21人	21人																												

<p>中途退学 の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 2.4 % 令和2年4月1日時点において、在学者41名（令和元年4月1日入学者を含む） 令和3年3月31日時点において、在学者40名（令和2年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ■中退防止のための取組 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用</p>
<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金制度： 有 特待生制度(学業優秀者への奨学金給付制度 入学時及び2年進学時) 資格・検定支援金制度 家族入学優遇制度 学費分納制度</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>URL : http://www.mirai.ac.jp/mit</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

動物看護師学科において、動物病院における動物看護師として就職することは在籍する学生の主たる目的であり、動物医療の現場が求める動物看護師像を把握し、より実践的な人材育成のために一貫した教育を施す必要がある。そのため、動物看護および動物医療業界等の外部人材を活用し、学校と業界等が参画する教育課程編成委員会を設置し、委員会での協議事項について教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び授業内容に反映することで、業界等からの要望や最新動向を踏まえた教育を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科は、委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、必要に応じて当該学科の「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗が原病院 放射線部 技師長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	③
遊座 晶子	一般社団法人 日本動物看護職協会 副会長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	①
福澤 美雪	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 学部長		
小山 真央	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科講師		
本橋 知果	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科講師		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（毎年2月・9月）

(開催日時(実績))

- 第1回 平成27年 2月 12日 15:00～16:00
- 第2回 平成27年 9月13日 14:30～16:00
- 第3回 平成28年 2月25日 14:30～16:00
- 第4回 平成28年10月13日 14:30～16:00
- 第5回 平成29年 2月27日 14:00～16:00
- 第6回 平成29年 9月21日 14:30～16:00
- 第7回 平成30年2月27日 14:00～16:00
- 第8回 平成30年9月20日 13:00～14:00
- 第9回 平成31年2月28日 13:00～14:00
- 第10回 令和1年9月26日 13:00～14:00
- 第11回 令和2年2月27日 13:00～14:00
- 第12回 令和2年9月24日 13:00～14:00
- 第13回 令和3年3月4日 13:00～14:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、企業セミナーなどの課外授業の実施を断念、研修旅行の中止、また学外実習においては制限をかけざるを得なかったため、校内実習に切り替える等に対応した。動物病院としての設備の充足、動物看護総合実習の満足度など、コロナ渦における学外実習については、その時々動向を踏まえる必要があるため、次年度以降の課題とする。

動管法の改正に伴い、実習動物の管理について検討をしている。動物のケージの広さの変更、折り畳み式のケージの大きさと数の把握と補充など整備している。動物を置く環境をより良くするため、設備等についても検討している。

他校の取り組みも参考にすべく、協会と連携している。保護犬・保護猫を校内実習動物として一定期間迎え入れることを今後検討していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針




動物看護師学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、動物看護師統一認定機構および動物医療業界の人材育成ニーズに沿った教育課程に基づき、外部講師による実習および演習の機会を提供し、動物看護職としての職業観・勤労観を育むとともに、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業2社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物臨床検査学Ⅰ-1	<p>動物診療現場で日常的に実施される、尿検査・糞便検査・血液検査など、動物看護師にとって必要となる様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。</p> <p>契約講師が実施する①の評価を踏まえ、②及び③を加味して5段階評価を実施する。 ①中間及び期末試験点数および実技評価 ②授業期間内の学生の出席率 ③授業期間中の学生の意欲的な取り組み度</p>	医療法人社団敬仁会 桔梗が原病院
グルーミング実習基礎	<p>グルーミングが与える動物への効果を学び、様々なイヌ種や状態に応じたグルーミングの技術を得ると共に、皮膚・被毛を中心とした健康状態の把握についても理解を深める。グルーミングに使用する備品・シャンプー剤を知り、個々に応じた選択ができるように習得し、負担のないグルーミングを実践する。</p> <p>学修評価については、契約講師が【実習態度・実習技能レベル】を5段階評価する。</p>	ドッグサロン&ドッグスクール Dog Life Lien
		

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

動物看護師学科においては、動物医療関連職に必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される。関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「一般社団法人 全国動物専門学校協会 定時社員総会」

(連携企業等:一般社団法人 全国動物専門学校協会)

期間:令和2年6月25日(木)

対象:一般社団法人 全国動物専門学校協会 会員校

内容:2020年度事業計画 動物系専門学校におけるコロナウイルス感染症への対応について

研修名「WJVF 第11回大会」

(連携企業等:公益社団法人日本動物病院協会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)

期間:令和2年7月23日(木)～令和2年8月9日(日)

対象:獣医師・動物看護師・トリマー・一般

内容:オンライン配信。獣医師向けプログラム 動物看護師・トリマー向けプログラム 予防医学等

研修名「日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース ビデオ検討会」

(連携企業等:日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけインストラクター 養成スタッフ)

期間:ビデオ検討会:令和2年12月12日(土曜日)12:00-18:00 カリキュラム検討:12月17日(木曜日)20:15-20:45

対象:家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース受講者

内容:遠隔にて受講。実際に行ったしつけ教室について、運営や指導法について検討、またしつけ教室のカリキュラムについて指導をいただいた。

研修名「日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース 受講生限定オンライン勉強会」

(連携企業等:DOG PARK Online)

期間:令和2年6月20日(土) 対象:家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース 受講生

内容:インストラクターを目指す勉強の中での疑問、トレーニングでうまくいかないこと、今抱えている問題への解決のヒントを掴む。

研修名「矢崎潤先生の「犬種特性セミナー～犬種に合わせたしつけのポイント」

(連携企業等:DOG PARK Online)

期間:令和3年3月28日(日) 対象:家庭犬しつけ方講座受講生 その他一般

内容:「犬種」にあわせたしつけ、教え方のポイント、飼い主の悩みの傾向やその対処法、問題行動の予防、学ぶ速度や教え方のポイント

研修名「高山美佐先生の「インストラクターのためのドッグダンスセミナー」

(連携企業等:DOG PARK Online)

期間:令和3年1月11日(日) 対象:家庭犬しつけ方講座受講生 インストラクター その他一般

内容:ドッグダンスと誘導 ドッグダンスの細かな動きを作っていく際に必要な丁寧で正確な「誘導」について学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

予定していた研修については、コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「高山美佐先生の「インストラクターのためのドッグダンスセミナー第2弾！」

(連携企業等: DOGPARK Online)

期間: 令和3年4月4日(日) 対象: 家庭犬しつけ方講座受講生 インストラクター その他一般

内容: 高山美佐先生の「ドッグダンスセミナー第2弾！」

初級のダンスルーティンとターゲットトレーニングについて学ぶ。ドッグダンスで使われるポジションや動作、トリックを「ターゲット」で教える方法、ステップアップの方法を学ぶ。

研修名「一般社団法人 全国動物専門学校協会 定時社員総会」

(連携企業等: 一般社団法人 全国動物専門学校協会)

期間: 令和3年5月25日(火) 16時00分 ~ 16時50分

対象: 一般社団法人 全国動物専門学校協会 会員校

内容: 未発表

研修名「WJVJF 第12回大会」

(連携企業等: 公益社団法人日本動物病院協会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)

期間: 令和3年7月9日(金) ~ 8月15日(日) 対象: 獣医師・動物看護師・トリマー・一般

内容: オンライン配信。獣医師向けプログラム 動物看護師・トリマー向けプログラム 予防医学等

研修名「第23回日本臨床獣医学フォーラム」

(連携企業等: 公益社団法人東京都獣医師会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)

期間: 令和3年9月24日(金)25日(土)26日(日) 予定(調整中)

対象: 獣医・動物看護師・一般

内容: 未発表

研修名「第11回 動物看護大会」

(連携企業等: 一般社団法人 日本動物看護職協会)

期間: 令和3年10月

対象: 動物看護師

内容: 未発表

研修名「日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース ビデオ検討会」

(連携企業等: 公益社団法人 日本動物病院協会)

期間: 未定 対象: 家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース受講者

内容: 未定

研修名「ペット栄養管理士認定試験」(連携企業等: 日本ペット栄養学会)

期間: 未定 対象: ペット栄養管理士認定試験受験者

内容: ペット栄養管理士認定試験

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「個人情報保護」(連携企業等: 一般社団法人 セーフティネット総合研究所)

期間: 未定 対象: 専門学校未来ビジネスカレッジ教職員

内容: SNSの危険性とその留意点 一般社団法人 セーフティネット総合研究所 専務理事 南澤信之先生

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論および意見をもとに作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	特に記載なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・保護者対象の説明会の継続を求める声をいただいた。これを受けて本年度も新入生保護者対象の学校説明会の継続と連携の強化を目標に掲げた。しかし、本年度は新型コロナ感染拡大の影響で保護者対象説明会を夏期にいったん延期したものの、収束の兆しがなく開催のメドは立たず、やむを得ず年末年始に学校ホームページ上でオンデマンド方式のWEB説明会を実施した。保護者連絡網の構築など、さらなる連携強化は今後の課題となったままである。
- ・各種の規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備の必要性についてご指摘いただいた。これを受けて本年度は規程の不備を洗い直し、必要なマニュアルの整備に向けて踏み出すことを目標に掲げた。しかし本年度は新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言を受けて休校に踏み切ったため、不足分のカリキュラム補てんに学校全体のパワーをシフトした影響で質保証に関わる各種の活動が制限されてしまった。この課題は次年度以降に繰り越さなければならない。
- ・教育の質保証のために授業評価は必須であるので必ず実施するようアドバイスいただいた。これを受けて本年度は学生による授業評価の結果により対象科目を絞り、授業参観などのチェック体制を順次構築していく計画であった。しかし、これも前項と同様の理由により今年度取り組むことはできず、次年度以降に繰り越す課題となった。
- ・学修成果としての各種試験合格率の向上や、各学科の成果を学校が積極的に発信していくことの重要性について改めてご指摘いただいた。これらの点について本年度も引き続き学校全体で努力を行い、一定の成果と社会からの評価をいただくことができた。
- ・卒業生への支援が手薄であるため検討が必要であるご指摘いただいた。これを受けて本年度は卒業生支援に関する研究を始める予定でいた。しかし、前々項と同様の理由により、次年度以降への繰り越しとなる。
- ・学習支援制度の無償ならびに給付型学生の募集開始にあたり、募集定員の見直しを計るべき段階に来たのではというご意見をいただいた。このため、本年度は各学科の募集定員を募集の実態に照らして見直しを計り、理事会にて学則変更を決議し届出を行った。
- ・教育の質保証のため教職員評価をしっかりと行うため評価基準・規程の整備を行うべきではないかとご指摘いただいた。これを受けて本年度から査定や評価の仕組みについて検討開始する方向であった。しかし、この課題も新型コロナ対策の影響を受け、次年度以降への繰り越しとなった。

名 前	所 属	任 期	種 別
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	松本大学	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	学識経験者
西村 明美	株式会社たちばな	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
林 兵司	パン工房 ブール	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール 店長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと 代表	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien 事業主	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種類の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

公表時期: 令和3年5月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後実施後に公表する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	なし
(11)その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 動物看護師学科) 令和 3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報リテラシー	パソコンOSの基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されているOffice系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする。	1前	30	1			○	○		○		
○			キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1前	30	1	○			○		○		
○			総合演習	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	60	2		○		○		○		
○			動物形態機能学	動物の体の構造、筋骨格系、神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の形態および機能についての理解。	1通	120	4	○			○			○	
○			動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。	1通	90	3	○			○			○	
○			動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	2前	30	1	○			○			○	
○			動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1前	60	2	○			○			○	

○		動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。獣医療現場、公衆衛生、環境関連の動物医療関連法規（獣医師法、獣医療法、動物愛護及び管理に関する法律、ペットフード安全法、身体障害者補助犬法、狂犬病予防法、家畜伝染病予防法、薬事法、食品衛生法など）について理解を深める。	1前	30	1	○			○			○	
○		公衆衛生学	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1通	60	2	○			○			○	
○		人間動物関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。	2前	30	1	○			○			○	
○		動物行動学 I II	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。学習理論を学び動物の学習がどのように起こるのかを理解する。また、動物との更なる良い関係の構築と共生のため、発達行動学を学び、年齢別の行動を理解し、飼い主教育に生かす。	1通	60	2	○			○			○	
○		動物福祉・倫理	動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。動物福祉の基盤となる5つの自由について理解する。	1前	30	1	○			○			○	
○		伴侶動物学	伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法、およびエキゾチック動物の生態について学ぶ。	1通	60	2	○			○			○	
○		産業動物学・実験動物学	産業動物の歴史や品種、飼育管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ。実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ。	1後	60	2	○			○			○	
○		野生動物学	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。長野県内の野生動物やそれに関わる生態系を知るための課外活動を行う。	2後	30	1	○		○	○	○	○	○	
○		動物内科看護学	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。	1前	30	1	○			○			○	

○		動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	2通	60	2	○			○								
○		動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	2前	30	1	○			○								
○		動物臨床看護学各論	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。	1後 2通	120	4	○			○								○
○		動物臨床栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。	1後 2前	60	2	○			○								○
○		動物臨床検査学 I-1	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。 1. 尿検査概論・各論と検査手技 2. 糞便検査概論・各論および検査手技 3. 血液検査概論・各論および検査手技	1前	30	1	△	○		○								○
○		動物臨床検査学 I-2	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。 1. X線・レントゲン検査 2. 超音波検査 3. その他生体検査	1後	30	1	△	○		○								○
○		動物医療コミュニケーション I II	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。	1後 2前	60	2	△			○	○							○
○		動物形態機能学実習・動物臨床看護学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1通 2後	90	3	△			○	○							○

○		動物内科看護学実習Ⅰ	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1通・2前	90	3	△			○	○		○		
○		動物内科看護学実習Ⅱ	グルーミングに来校する犬の飼い主への問診、担当犬の身体検査、預り中の環境管理、飼い主への説明やアドバイス、カルテ作成等を通し、実際の動物病院内での動物看護師の動きを学ぶ。	1後	30	1	△			○	○		○	○	
○		動物臨床検査学実習ⅠⅡ	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。また一人で責任を持った検査結果を出せるよう、知識・技術の習得を目指す。	1通・2通	120	4				○	○		○		
○		動物外科看護学実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2通	90	3				○	○		○		
○		動物飼育実習	動物行動学に基づいた犬のトレーニング法の基礎を習得する。さらに、飼い主指導に活かせるハンドリング技術、インストラクションスキルの習得を目指す。また、飼育動物の世話と管理を通し、様々な動物の飼育について学ぶとともに、動物看護師として動物を観察する目を養う。	1後・2通	90	3				○	○		○		
○		グルーミング実習基礎	日常の手入れとグルーミングに関する知識・技術を学び、グルーミングの基本的な流れを理解する。犬が受け入れやすい扱い方を身に付ける。	1後	60	2				○	○		○	○	○
○		グルーミング実習応用	グルーミング実習基礎で習得した知識・技術を活かし、動物の日常の手入れとグルーミングに関する更なる知識・技術習得を目指す。	2前	60	2				○	○		○	○	
○		動物リハビリテーション学実習	主に高齢動物における特性を理解する。また、全年齢の動物に対するリハビリテーションの意義と正しい実施方法および評価方法を理解する。また、代替医療を含む東洋医学アプローチ法について理解を深める。	2前	30	1				○	○		○	○	

○	動物病理学	発病のメカニズムと生体反応について学ぶ。疾病の成り立ち、退行性変化、進行性変化、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍、先天異常などについて理解する。	2 前	30	1	○			○									
○	動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2 通	60	2	○			○									
○	動物業界研究	動物医療・動物業界における様々な事柄について調査・研究もしくは現場の実習を通して、今後の業界の役割、動物と人との関係を理解し、自分のあり方を考える。	2 通	180	6	△	○	○	○	○	○							
○	動物看護総合 実習	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い見識を身につける。	2 通	180	6	△		○	○	○	○							
○	動物看護師試験 対策	動物看護師統一認定試験の合格を目標に、試験対策を通し動物看護師に必要な知識を習得する。	2 後	210	7	○		△	○									
○	卒業研究・制 作	動物関連のテーマを設定し、そのテーマに沿って深く研究を行う。	2 後	210	7				○	○	○	○						
合計				41科目	2280単位時間(76 単位)													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：76単位以上の単位取得 履修方法：【必修科目】58単位，【選択必修科目】18単位 単位制履修に関する留意事項 ①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。